

第3回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日時 令和3年12月13日(月) 午前10時から11時まで
- 会場 府中市男女共同参画センター 会議室
- 出席者 (委員)
内海会長、藤山副会長、飯田委員、漆原委員、西條委員、関委員、徳原委員、内藤委員、向井委員
(事務局)
浦川地域コミュニティ課長、本木地域コミュニティ課長補佐、
大神田男女共同参画推進係長、高畑主任
- 欠席者 北島委員、松本委員、堀井委員
- 傍聴者 なし
- 議事 1 審議事項
(1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告に係る第三者評価について
(2) 府中市男女共同参画の推進についての報告書(案)について
2 その他
- 資料 1 府中市男女共同参画計画推進状況評価重点項目各委員評価(修正版)
2 府中市男女共同参画の推進についての報告書(案)(抜粋)

開会

【会長】

定刻になりましたので、第3回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。
まず、事務局から本日の委員の出席状況の報告、傍聴者の有無、配付資料、本日の流れについてご説明をお願いします。

【事務局】

本日の出席状況でございますが、北島委員、松本委員、堀井委員から欠席のご連絡をいただいております。現在、定数12名中9名の委員の皆様に出席をいただいておりますので、本協議会は有効に成立していることを併せてご報告いたします。また、本日の傍聴ですが、申込みはございませんでした。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

本日は、審議事項が2点あります。1点目が、前回行っていただいた「府中市男女共同参画計画推進状況評価報告に係る第三者評価」の続きをお願いします。2点目が、年度末に市長へ報告します「府中市男女共同参画の推進についての報告書(案)」の検討、となっております。

それでは、内海会長よろしくお願いたします。

【会長】

それでは、まず、前回議事録の確認です。何かお気づきの点はございますか。特にないようでしたら事務局は公開の手続きをお願いします。

次に、次第1の審議事項(1)府中市男女共同参画計画推進状況評価報告に係る第三者評価について、事務局からご説明をお願いします。

【事務局】

資料1をご覧ください。

(資料1の説明)

なお、1点修正がございます。1ページの事業項目番号1「全ての審議会等における男女それぞれの構成比率を40%以上に促進」の評価について、「C」としていますが「D」に修正をお願いいたします。

以上でございます。

【会長】

前回からの修正案について、何かご意見はありますか。

【委員】

評価について、委員の評価平均が2.6でDのところもあれば、2.5でCのところもあります。問題ありませんか。

【事務局】

事務局案として、各委員の評価平均を四捨五入し、AからE判定を記載しています。本協議会の検討結果で評価が変わることは問題ございません。

【会長】

6ページの36番の提言で「実態と努力が良くわかりました」という表現に少し違和感があります。言いたいことはよくわかりますが、少し、表現を事務局で考えてください。

その他、特になければ次に進みます。

4ページの事業項目22「男女共同参画センター『フューラル』の運営」についていかがでしょうか。評価平均2.9なのでCで良いでしょうか。提言の「コロナ禍の中」という表現が少し変ですかね。

その他、何かありますか。ないようでしたら次に進みます。

事業項目番号32「仕事と生活を両立する働き方の促進」について、評価平均2.9なのでCとなっていますが、いかがでしょうか。

【事務局】

委員から令和2年度、令和元年度のノー残業デーの残業率、時差勤務利用率、年次有給休暇取得率を教えてくださいと質問がありましたので、職員課へ確認しました。年次有給休暇取得率は令和2年が27.7%、令和元年が28.3%でした。

【会長】

少ないですね。これらの数字は見える化をして、皆さんに自覚してもらい、意識を変えてもらえると良いですね。

【委員】

算出方法はどうなっていますか。

【事務局】

年次有給取得率は「有給休暇取得日数÷(当年付与日数+前年繰越日数)」です。私の場合だと1月に40日スタートしたので、そのうちの3割程度ということであれば

10日前後でしょうか。

【委員】

割合ではなく、数字として目標値を出す方が良いと思います。

【委員】

提言に週休3日制とありますが、これは府中市だけの努力で実現することは難しいので、削除して良いと思います。あと、リモートワークではなくテレワークの方がわかりやすいと思います。

【委員】

府中市のテレワークの導入状況はどうですか。

【事務局】

緊急事態宣言下では一部試験的に導入しましたが、現在は行っておりません。

【会長】

できるのであれば取り組んでほしいですね。

【委員】

数値の見える化をしてほしいと提言しますよね。数値がないと私たちは評価できません。あと、有休の取得率について、前年の繰越分は個人差があるので、新たに付与された20日を母数とした方が比較しやすいと思います。そのことも記載してほしいです。

【委員】

母数の考え方も含めて検討してほしい旨を記入してはどうでしょうか。

【会長】

数値の見える化をする際に、少し整理をしてわかりやすい数字を提供してもらいましょう。

【委員】

男性の育児休業の取得なども積極的に取り入れていただけると良いと思います。今後、目標に入れてもらえれば良いと思います。

【会長】

重点項目にはなっていませんが、他にあると思います。来年はそこを重点項目にするのも良いかもしれません。令和元年度は育児休業取得者が7人いますね。取ることに意味があるのですが取得期間は少ないのではと思います。

【委員】

半年、1年と増えていくと良いですね。取得するのが当然という意識になることを願います。

【会長】

それでは次にいきましょう。7ページの事業項目番号53「相談体制の充実」につい

ていかがでしょうか。

周知活動の「結果」ではなく「成果」の方がいいですね。

【委員】

相談時間の拡充は時間を増やすのか、曜日を増やしますか。

【委員】

相談時間を拡充したことを評価しているのにさらに延ばすことを求めるのは厳しいですね。

【会長】

「相談時間の拡充」は削除しましょう。

それでは最後の8ページ事業項目番号60「児童虐待防止への対応」についていかがでしょうか。ここも「コロナ禍の中」は表現を検討してください。

自宅にいる時間が増え、DVや虐待は増えていますので、自治体は力を入れないといけない分野ですよ。

【委員】

コロナ禍において、現実はどうで新たにどんな課題であって、それをどう対応したかということを書いてほしいですね。

コロナで会議がなくなったとか、感染防止のためこうしたという記載しかないのが残念です。

【会長】

コロナ禍だから何か特別なことをしたということはないのかもしれませんが。臨機応変な対応が必要だということは書いても良いかもしれません。

【委員】

昨年もヒアリングをさせていただいて、とても努力されていると思いました。会議数も増えていきますし、前回の提言を反映してくれたということが伝わってきました。

【会長】

ヒアリングをして初めてわかることが多いですよ。

【委員】

きっと皆さんやっていると思います。ただ、文章にすると伝わってきません。

【会長】

昨年のヒアリングで積極的に取り組まれていることは伝わりました。それが伝わるように記載してほしいと提言しましょう。

【委員】

フューチャーの運営について、コロナによって登録団体は減りましたか。また、稼働率はいかがですか。

【事務局】

登録団体数に大きな変化はありません。稼働率は緊急事態宣言下では低く、最近はやや団体の活動が増えています。

【会長】

ありがとうございます。

続きまして、次第1 審議事項の(2)府中市男女共同参画の推進についての報告書(案)について事務局からお願いします。

【事務局】

それでは資料2をご覧ください。

(資料2の説明)

事務局からは以上でございます。

【会長】

資料2の1 ページ目、「府中市男女共同参画推進状況評価報告書に関する第三者評価について」ご意見ございますか。追加したい内容などはありますか。

「再三申し入れているにも関わらず」という表現は前回も同じ記載ですが少し考えた方が良くもありません。

【委員】

今年も変えても良いかもしれません。歯がゆさがあり、程度で良いかもしれません。

特に政策課については、2年連続でヒアリングを実施し、前回に比べ、格段に進化、努力していることが伝わりましたという内容を記載しても良いかと思えます。

【委員】

態度が変わりましたよね。努力の姿勢が見えました。

【委員】

人が変わったからかもしれません。

【委員】

連続してヒアリングすることはとても大事だということを伝えたいです。

書面だけでは伝えきれないし、相手側も説明しづらい部分もあります。ヒアリングすることで相互の理解が深まると思いました。

【会長】

ヒアリングの箇所を少し修正しても良いかもしれません。

【委員】

ヒアリングをすると印象が変わります。目標の設定が困難としているところもありますが、ヒアリングをしていないところが多く、実施したところは少しずつ変わってきています。

【会長】

今後、ヒアリングを充実させても良いかもしれませんね。

【委員】

上段に、文章からだとは伝わらないことがヒアリングを実施することで理解できますというような文を追記すると、ヒアリングがいかに重要かということが伝わるかもしれません。

【委員】

政策課は難しいですね。自力ではどうすることもできない分野です。他部署の努力や協力がないと成果が出ません。

【委員】

政策課は仕事の一部なので大変ですね。今年の政策課のメンバーは前回と姿勢が違いますね。

【委員】

前は他人事のような受け答えでしたよね。

【会長】

本日の意見を踏まえ、事務局で文言を再度検討していただきましょう。

【委員】

今後、実績などについて、こう書いてくださいとこちらから提案することはできませんか。担当課もどのように書けば良いかわからないかもしれません。

【事務局】

検討します。

【会長】

それでは、次にいきます。

「2 府中市男女共同参画センターの事業計画及び運営に関することについて」はいかがでしょうか。

【委員】

「配偶者等からの暴力に苦しむ方が絶えません。」とありますが、「相談が寄せられています。」程度の表現の方が良いと思います。

【委員】

「継続的に専門性等を持つ団体と市が協働し」の「継続的に」がどこにかかっているのかわかりませんでした。

【事務局】

「協働し」にかかっているという認識で作成しましたが、なくても伝わるので削除します。

【委員】

その次の「事業等が展開されました」とありますが、「開催」でも良いのではないで

しょうか。

【委員】

「学生たちは毎年度流動していきますので、」という表現がありますが、その後に「継続的な」とあるので、なくても伝わると思います。

【会長】

その他、いかがでしょうか。それでは事務局は本日の意見踏まえ、修正をお願いします。

続きまして、「2その他」について、事務局からご説明をお願いします。

【事務局】

事務局からは1点ございます。

次回、第4回の協議会の日程ですが、会場等の都合により、1月21日（金）午前10時から、場所はフュールでお願いいたします。詳細は追って開催通知を送付いたします。

【会長】

それでは、以上で、本日の会議を閉会とします。ご出席ありがとうございました。